

2024

岩倉市 ゼロカーボン チャレンジ



ゼロカーボンシティいわくらロゴマーク

岩倉市は令和5年2月、2050年までに地球温暖化の原因とされる二酸化炭素(CO₂)の排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

市民のみなさんに地球温暖化の原因や防止の取組を知ってもらい、みんなで力を合わせてゼロカーボンシティの実現に向けて取り組んでいきましょう。

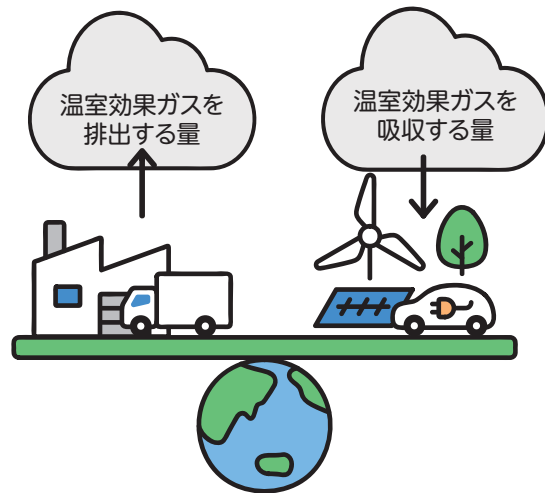
ゼロカーボンってなに？

ゼロカーボンとは、CO₂をはじめとする温室効果ガスの「排出する量」と「吸収する量」を同じにすることをいいます。

ゼロカーボンにすることで、地球温暖化の原因である温室効果ガスが増えなくなるため、地球温暖化の進行を止めることができます。

ゼロカーボンを達成するには、

- ①温室効果ガスの排出する量を減らす取組
 - ②温室効果ガスの吸収する量を増やす取組
- の両方に取り組む必要があります。



チャレンジの取組方法

- 1 ゼロカーボンについて知ろう！
- 2 ゼロカーボンチャレンジに挑戦してみよう！
- 3 挑戦したら、プレゼントに応募しよう！
- 4 応募してくれた人の中から抽選で景品が当たる！



ゼロカーボンはなぜ必要？

地球温暖化が進むことで、気温が上昇するだけでなく、大雨や台風の強大化や猛暑日の増加、海面上昇など様々な影響が出てきます。

このまま地球温暖化が進んでいくと、熱中症のリスクが高まったり、農作物が取れなくなって食糧危機が起こったりするかもしれません。そうならないためにも、ゼロカーボンを実現させる必要があります。



熱中症・感染症
などの健康被害



大雨や台風など
異常気象の増加



生態系への影響
や食糧不足



海面の上昇

岩倉市ではどんな取組をしているの？

省エネルギー対策や環境負荷の軽減、再生可能エネルギー導入など、様々な地球温暖化対策に取り組んでいます。例えば、公共施設への太陽光発電システムの設置や緑のカーテンの設置、公用車へのEV(電気自動車)の導入などを行っています。

また、電気自動車やプラグインハイブリッド車などの購入の補助や家庭用エネルギー管理システム(HEMS)や家庭用燃料電池システム(エネファーム)などの住宅用地球温暖化対策設備の設置に対する補助も行っています。

詳しくは市のホームページをご覧ください。

※予算がなくなり次第終了します。



住宅用設備補助金

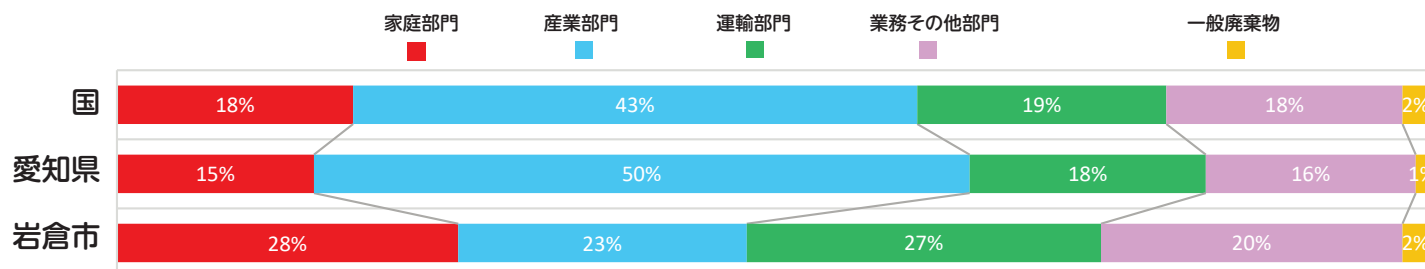


次世代自動車補助金



私たちはどうすればいいの？

岩倉市は、CO₂の排出量のうち、家庭部門の占める割合が多く、産業部門の割合が少ないことが特徴です。岩倉市では、CO₂排出量を2030年度までに、2019年度比で46%(79,000t-CO₂)削減することを目標としています。そのため、ゼロカーボンシティを実現するためには、家庭での取組みが非常に重要であることがわかります。



POINT

岩倉市は家庭部門の割合が一番多いため、各家庭の取組がとても大事になります。

出典:環境省自治体排出量カルテ(2020年)



ゼロカーボンチャレンジ

下記の15項目から挑戦するものを選び、**全項目の合計で7日以上かつ10項目以上**取り組んでみましょう。また、チャレンジした日数を入れて、減らせたCO₂の重さを見てみよう。(日数がない項目は、取り組めたら○をつけよう。)

温室効果ガスの排出を少しでも削減し、将来の世代に自然豊かな環境を引き継ぐために私たち一人ひとりができる取組を実践しよう。(プレゼントの応募には**全項目の合計で7日以上かつ10項目以上**取り組む必要があります。)

チャレンジ項目(15項目)		減らせるCO ₂ の重さ(1日あたり)	チャレンジした日数又は○	減らせたCO ₂ の重さ
1	自宅でウォームビズ (ウォームビズの服装をして暖房で使われるエネルギーを控える)	250g	日	g
2	自宅の電球をLEDに	220g		○の場合 220g×7日=1,540g
3	暖房にガスストーブや石油ストーブを使わない	250g	日	g
4	エコドライブを行う	300g	日	g
5	まとめ買いをする (買い物に行く頻度を1週間あたり1回に減らす)	250g		○の場合 250g×7日=1,750g
6	通勤・通学に公共交通機関を使う	440g	日	g
7	マイカーをPHVに	550g		○の場合 550g×7日=3,850g
8	マイカーをEVに	570g		○の場合 570g×7日=3,990g
9	食品ロスをなくすようにする	160g	日	g
10	旬の野菜や果物を食べる	80g	日	g
11	地元で採れた野菜や果物を食べる	30g	日	g
12	消耗品を節約する (衛生用品・文房具等を節約し、新規購入量を約半分にする)	250g		○の場合 250g×7日=1,750g
13	衣類を長く着る (衣類の新規購入量を約4分の1に減らす)	580g		○の場合 580g×7日=4,060g
14	アルコールとたばこを控える	520g		○の場合 520g×7日=3,640g
15	コンパクトなまちに住む (移動に費やす時間を1日あたりの平均10分短縮)	380g	○	○の場合 380g×7日=2,660g
今回のチャレンジで減らせたCO ₂ の重さ(合計)				g

※出典:脱炭素型ライフスタイルの選択肢(国立研究開発法人国立環境研究所)

ちなみにゃ・・

市民1人あたりのCO₂削減目標

約 **60** kg(1年)



プレゼント応募方法

全項目の合計で7日以上かつ10項目以上チャレンジに取り組んでくれた方(市内在住、在勤、在学に限る)に、抽選で30名にQUOカード(1,000円分)や環境に配慮した品をプレゼントします。

(応募期間:令和6年10月28日～令和7年1月13日)

次のいずれかの方法でご応募ください。(当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。)

①このシートに氏名等必要事項を記入して郵送

(郵送先:〒482-8686岩倉市栄町一丁目66番地 岩倉市環境政策課宛て)

②WEBから応募(QRコードを読み込んで応募)

③直接このシートを市役所3階環境政策課に提出



応募フォーム

郵便番号			住 所		
氏 名				電話番号	
チャレンジした項目数	個	チャレンジした日数(合計)	日	チャレンジで減らせたCO ₂ の重さ(合計)	g

感想をお聞かせください

①ゼロカーボンチャレンジに取り組んでみて感じたことを教えてください。

②チャレンジ項目にないもので、ご家庭で取り組んでいること・意識していることを教えてください。

ゼロカーボン推進に関する

📺 ショートムービーも募集しています



「環境に優しい」ライフスタイルを目指し、環境に良い取り組みを紹介する1分以内の動画を募集しています。スマートフォンからでも応募できますので、ぜひご応募ください。

🎬 **テーマ** 未来のために～私たちの脱炭素型ライフスタイル～

🎬 **応募期限** 令和6年12月23日午後5時必着

🎬 **応募資格** 市内に在住・在勤・在学の人(18歳未満の人は保護者等の同意が必要です)

応募要件、注意事項等
詳しくはこちらをチェック



ホームページ



応募フォーム

